

# ネットワークアンケート ③④

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

## Q. 貴院の糖尿病患者さんで「糖質」の過剰摂取による血糖コントロール不良の方はおられますか？

近年、カーボカウントなど、糖尿病食における「糖質管理」が注目されています。「糖質」中心の食生活による、血糖コントロール不良の患者さんが心配される一方、極端な制限食によるリスク回避のためにも、適切な指導が望まれるところです。そこで、今回は「糖尿病患者さんの糖質管理と指導」について伺いました。

[回答数：医療スタッフ75名(医師11、看護師19、管理栄養士29、薬剤師7、臨床検査技師3など。うち日本糖尿病療養指導士21、糖尿病看護認定看護師3)、患者さんやその家族312名(病態/1型糖尿病109、2型糖尿病185、糖尿病境界型10、その他8、治療内容/食事療法243、運動療法185、飲み薬の服用152、インスリン療法166/重複回答有)]

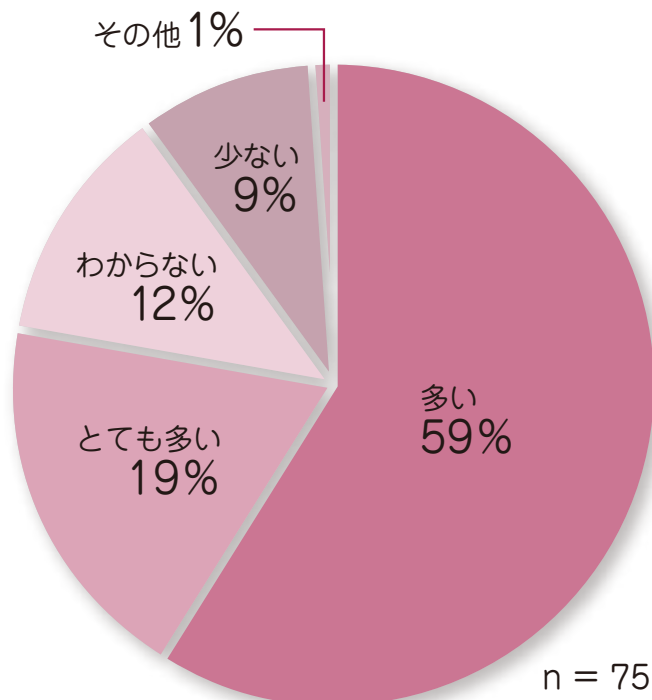
糖質の過剰摂取による血糖コントロール不良の患者さんは「多い」と「とても多い」を合わせて約8割が“多い”との実感でした。これを受けて、「糖質」の摂取量に配慮するよう指導しているかを訊ねたところ、約半数が「患者さん全員へ行っている」、約4割が「食生活に問題のある患者さんに行っている」とのこと。

また、食事の糖質量(もしくは炭水化物量)を意識、管理することは、血糖コントロールの安定、改善に役立つかを伺ってみると、「必要な患者さんには役立つ」、「役立つ」を合わせて、97%が「役立つ」とのお考えでした。食事の糖質摂取量を適正に減らすことで、メリットのある患者さんとしては、「糖質の過剰摂取を是正する必要がある

方」が76%、「患者さん皆が知っておく価値がある」とする方が48%、「外食・中食中心の生活の方」が47%と続きました。

さらに、最近、指摘されている“過剰な糖質制限”によるリスクについては、67%が「必要と思われる患者さんへ」、39%が「患者さんから質問があった際に」、説明や指導を行っているとのこと。「糖質制限禁忌の患者さんに指導を行っている」方は約1割でした。

自由記述では、「自己流で行っている患



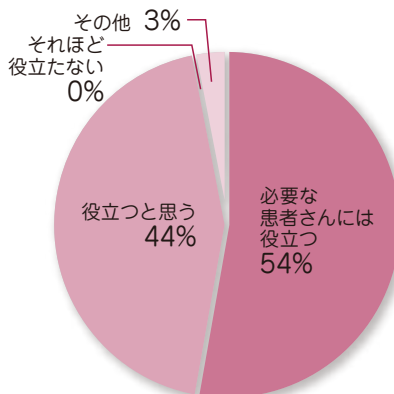
者も多いので医療者、患者を含め正しい知識を持つことが大事’短期実施は効果の益の方が高いが、長期実施による合併症の増悪を見逃さぬよう慎重に対応している’糖質制限とカーボカウント、従来のエネルギー制限食の利点と欠点を患者さんに説明し、患者さん自身に選択してもらおうとよい’等の意見がありました。

### Q. 糖質摂取量に配慮するよう、患者さんへ説明や指導を行っていますか？

(複数回答可 n=75)

- 基本的に全員……………49%
- 食生活に問題のある患者さん……………36%
- 血糖コントロール不良の患者さん……………17%
- インスリン療法の患者さん……………5%
- とくに行っていない……………4%
- SMBGを行う患者さん……………3%
- その他……………6%

### Q. 糖質管理は、血糖コントロールの改善に役立つとお感じになりますか？ (n=75)



### Q. 糖質管理でメリットのある糖尿病患者さんは？

(複数回答可 n=75)

- 糖質を過剰に摂取する食生活を是正する必要がある方……………76%
- 糖尿病患者さん皆が知っておく価値はあると思う……………48%
- 外食や中食中心の生活の方……………47%
- 高血糖が続いている方……………44%
- 一時的でも減量が必要な方、……………35%
- 肥満のある方……………33%
- 通常の食事指導では、うまくいかない方……………29%
- エネルギー(カロリー)計算ができない方……………29%
- とくにメリットがある人はいないと思う……………1%
- その他……………4%